

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110039	XXX1110039	2	前期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
国際関係論	瀬戸 裕之			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
本講義では、「アジアの中の日本」を中心的なテーマとしながら、国際関係を理解するための基礎知識を学びます。はじめに、国際関係をみるための基本的な考え方、冷戦などの国際関係の歴史、国際社会が抱える基本的な課題を学びます。そして、日本とかかわりが深い東アジアと東南アジアの地域形成において国際社会から受けた影響を考え、日本の安全保障と外交を知ることによって、グローバル化と地域の中での日本の国際関係の課題を理解します。							
各回毎の授業内容							
第1回				第9回			
【授】はじめにー国際関係をどのように学ぶか				【授】グローバル化と相互依存			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第2回				第10回			
【授】国際社会の特徴と国家				【授】中国ー革命と改革開放路線			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第3回				第11回			
【授】国際関係をみる分析視点				【授】朝鮮半島ー分断国家の形成と対立			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第4回				第12回			
【授】冷戦の始まりと展開				【授】東南アジアー紛争から地域統合へ			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第5回				第13回			
【授】冷戦の終焉				【授】日本の戦争とアジア			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第6回				第14回			
【授】国連と安全保障				【授】戦後の日本の安全保障と国際協力			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第7回				第15回			
【授】開発途上国と国際協力				【授】冷戦後の日本の外交課題			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。			
第8回				第16回			
【授】地域紛争とテロリズム				【授】期末試験			
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。				【前・後】【必要な時間4時間】これまでの授業内容を復習しておく。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	40	30					70
小テスト・授業内レポート	20	10					30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
評価は、中間テスト(30%)と期末試験(70%)によって行われる。出席はとらないが、単位を取得したい学生は、必ず中間テストを受験しなければならない。							
中間テストは、実施後に、問題の要点と回答について受講者に説明する。							
教科書参考書							
指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
受講する学生は、各自でノートを持参すること。							
学習到達目標							
①国際関係を構成する基本的な概念(主権国家、現実主義、安全保障など)を理解すること。②アジアを事例に、各地域の国家形成が国際社会から受けた影響を理解すること。③日本が置かれている国際状況とアジアとの関係について理解すること。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習